

乳腺・内分泌外科 初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 乳房の適切な診察法を学ぶ
2. 乳腺疾患の画像検査や病理検査について理解する
3. 外科医としての基本的手術手技を修得する

研修目的

乳腺疾患には乳癌、乳腺良性腫瘍、炎症、乳腺や乳頭の発生・発育異常など多種・多様な疾患が含まれる。これらの疾患を理解するためには、解剖学、病理学、生物学、生化学、生理学、内分泌・代謝機能学、薬理学、画像診断学、腫瘍学などの基礎医学の知識は必要不可欠である。これらを復習しながら臨床医学である乳腺外科学を初期研修してもらいたい。

研修目標

◇ 一般目標 (GIO)

主な乳腺疾患の症候、診断と治療に関する基本的知識や技術を修得して、乳腺外科の臨床的問題を適切に解決できるようにする。

◇ 行動目標 (SBOs)

1. 乳房の構造と機能を説明できる。
2. 乳腺に対する女性ホルモンの作用を説明できる。
3. 乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、CT、MRI など）を説明できる。
4. 乳房腫瘍に対する細胞・組織診断法を説明できる。
5. 乳房腫瘍、異常乳頭分泌（血性乳汁）や乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。
6. 乳腺良性疾患（腫瘍、炎症、形態異常など）について説明できる。
7. 乳癌の疫学、危険因子、症候、診断、治療（手術、放射線、薬物など）、再発、予後などを説明できる。
8. 乳癌の術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。
9. 乳癌リハビリテーションの適応、効果、方法などを説明できる。
10. 男性乳腺疾患（女性化乳房、男性乳癌）を説明できる。

◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

乳癌手術症例：10 例 助手として経験可能

良性乳腺疾患：30 例 外来医として経験可能

研修方略

LS	方法	該当 SBO s	対象	場所	媒体	人的資源	時間	学習時期
1	外来研修	1～11	指導医 研修医	外来	カルテ	指導医 研修医	3時間	毎日
2	病棟研修	7～9, 11		病棟	実技		2時間	毎日
3	外来生検	4, 6, 7, 11		外来			1時間	随時
4	手術研修	7～9, 11		手術室			3時間	木午後
5	画像・症例 検討	3～11		外来	カルテ		1時間	月午後

研修評価

SBO s	目的	対象	測定者	時期	方法
1～6, 10, 11	形成的	知識、態度	指導医	研修中	口頭試験
7～9		知識、技能			技能試験

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診 画像・症例検討会
火	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診
水	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診
木	病棟朝回診 外来研修	手術	病棟回診
金	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診

指導責任者および指導医

指導責任者： 鈴木昭彦

指導医： 朴 英進、渡部 剛

学生（4～6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・ 参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制

指導可

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：3ヶ月）

1 名/1クール